



No.127

社会福祉法人

南風荘だより



社会福祉法人 南風荘

〒755-0152 山口県宇部市あすとぴあ2丁目2-15
TEL(0836)43-6211 FAX(0836)43-6225
E-mail selp-n@ace.ocn.ne.jp
URL http://www.nanpuso.or.jp

「南風」を目指して

理事長 西重 國隆



昨今、自然災害をはじめ多様な危機管理等が問われる諸状況が続いております。その厳しさは、過去経験したこともない、将に先が読めない苛立たしさを感じる事ばかりであります。これらの対応のため、多角的対策を思っているところでありますが、まずは、落ち着いて当法人が有する課題を整理し、改善を図って参らなければと考えております。

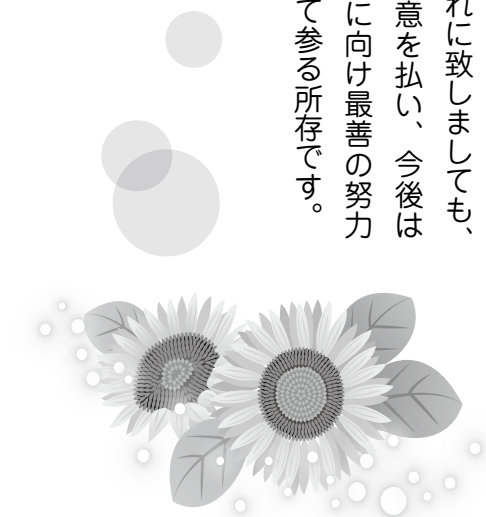
さて、当南風荘は、障害を有する方々（聾啞者）が手に職を付け、社会で活躍できることを目指して設立された社会福祉法人であると聞いております。一昨年創立60周年を迎え、再出発を図ったところでありますが、時を同じくして、社会福祉法人の在り方論が佳境を迎え、社会福祉法（旧・社会福祉事業法）の一部改正が本年（平成28年）3月末日に行われたところであります。時代の変遷を噛みしめ、新たに求められる対応に、自らが率先して自らの信念の下に、邁進していかねばならないものと考えております。

その軸足については、競うものではなく、個々の人々に寄り添い、窓口は狭めず規律を重んじた開かれた組織を求めて事業展開を図って参ります。

そのベースは、当法人の名称である「南風（ナンプウ）」の如く、暖かくやわらかに吹く風を目指して参ります。

また、この度の社会福祉法の一部改正に伴う対応については、役員・評議員の方々を始め関係者の皆様方のご意向を汲み取り、より良い素案づくりに努め、中期計画については、先に作成しております中期経営計画をベースとして一部を再編し、推進して参ります。

なお、平成27年度決算はお示しのとおり厳しい状況下となったのでありますが、いずれも一過性のものが原因であり、いずれも細心の注意を払い、今後は健全経営に向け最善の努力を傾注して参る所存です。



平成27年度 社会福祉法人南風荘事業報告

社会福祉法人南風荘は、「社会福祉法の一部改正案」が示された段階で、ホームページにおいて、従来の理念、基本方針及び財務諸表に加え、定款や役員状況を掲載し、より一層の法人経営の透明性を推進するとともに、これらの書類を事務所に備え置きし、一般の閲覧に対応できるようにしている。また、先輩の声欄として、課長から新人職員の顔写真入りのコメントを掲載し、福祉施設への就職を志す若者への将来展望も含めた情報発信に努めている。

第4期障害福祉計画において、地域における課題の解決を目指す「地域生活支援拠点」等の整備を推進するために、全国10か所程度の自治体を選定し、「地域生活支援拠点等整備推進モデル事業」を実施することになり、宇部市が応募し選定された。

宇部市の公募を経て、当法人がこの事業を受託することになり、学識経験者、障害当事者団体、相談支援事業所、保健・医療、行政及び福祉サービス事業所をメンバーとする準備委員会を立ち上げ、5つの機能（①相談、②体験の機会・場、③緊急時の受け入れ・対応、④専門的人材の確保・育成、⑤地域の体制づくり）について検討した。宇部市に居住する障害児者へのアンケートや障害者団体との意見交換等でのご意見を参考にして、「体験の機会・場」、「緊急時の受け入れ・対応」を重点事項に設定し、それを解決するための必要な機能として「相談」を位置づけ、4回の準備委員会を開催して検討を重ねた。短期間ながら活発なご意見をいただくことが出来、それらをまとめた最終報告書を新年度早々に宇部市へ提出することになっている。

その他重点事項の取り組み実績として、法人の内部牽制の確立、中期経営計画の推進、自立訓練事業の見直し、職員資質の向上、公益事業の素案作成、工賃アップ対策等の推進並びにより良い人材確保対策の促進等に取り組んだ。



社会福祉法人 南風荘
常務理事 河原 照正

理事・評議員紹介 (順不同)

理事長(評議員)	西重 國隆	評 議 員	河野 康子
常務理事(評議員)	河原 照正	評 議 員	有田信二郎
理 事(評議員)	小林 俊明	評 議 員	柳川 博
理 事(評議員)	三根 禎二	評 議 員	内田 雅士
理 事(評議員)	佐藤 坤子	評 議 員	磯部 克良
理 事(評議員)	藤田 琢夫	評 議 員	麻生起世美
理 事(評議員)	栗井 洋子	評 議 員	益原 忠郁
監 事	栗原 清隆	評 議 員	勝山 憲和
監 事	久保田トミ子		

(平成28年4月1日現在)

平成27年度 決算報告書

貸借対照表

平成28年 3 月31日現在

単位：千円

資産の部		負債の部	
流動資産	272,467	流動負債	40,519
現金預金	144,116	事業未払金	28,418
事業未収金	93,527	その他の未払金	9,227
未収金	13,548	職員預り金	2,807
受取手形	101	仮受金	67
商品・製品	3,880		
原材料	4,485		
立替金	10,370		
前払費用	2,440		
固定資産	896,423	固定負債	459,984
基本財産	744,429	設備資金借入金	382,170
土地	87,428	長期運営資金借入金	50,000
建物	657,001	退職給付引当金	27,814
その他の固定資産	151,994	負債の部合計	500,503
構築物	51,373	純資産の部	
機械及び装置	9,526	基本金	106,654
車輛運搬具	14,415	国庫補助金等特別積立金	351,302
器具及び備品	36,938	その他の積立金	0
権利	1,200	次期繰越活動増減差額	210,431
ソフトウェア	473	(うち当期活動増減差額)	△ 34,252
退職給付引当資産	27,814	純資産の部合計	668,387
差入保証金	9,481		
その他の固定資産	774		
資産の部合計	1,168,890	負債及び純資産の部合計	1,168,890

事業活動計算書

(自)平成27年 4 月 1 日

(至)平成28年 3 月31日

単位：千円

サービス活動 増減の部	収益	727,850
	費用	769,249
	増減差額	△ 41,399
サービス活動 外増減の部	収益	11,539
	費用	4,061
	増減差額	7,478
特別増減の部	収益	2,210
	費用	2,541
	増減差額	△ 331
当期活動増減差額		△ 34,252
繰越活動増減 差額の部	前期繰越活動増減差額	244,683
	当期末繰越活動増減差額	210,431
	その他の積立金取崩額	0
	次期繰越活動増減差額	210,431

資金収支計算書

(自)平成27年 4 月 1 日

(至)平成28年 3 月31日

単位：千円

事業活動による 収支	収入	739,389
	支出	728,351
	収支差額	11,038
施設整備等による 収支	収入	5,938
	支出	34,006
	収支差額	△ 28,068
その他の活動による 収支	収入	51,118
	支出	55,147
	収支差額	△ 4,029
当期資金収支差額		△ 21,059
前期末支払資金残高		244,642
当期末支払資金残高		223,583

財産目録

平成28年 3 月31日現在

単位：千円

資産の部	
流動資産	272,467
固定資産	896,423
資産合計	1,168,890
負債の部	
流動負債	40,519
固定負債	459,984
負債合計	500,503
差引純資産	668,387

講演「障害者差別解消法」を終えて

社会福祉法人南風荘を後援する会 会長
社会福祉法人南風荘 理事

栗井 洋子

五月の後援会総会後、宇部市障害福祉課長谷寛子氏による「障害者差別解消法概要と本市の取り組み」と題する講演がありました。

始めに「障害者の権利に関する条約の締結」について、これまでの経緯と概要の説明がありました。この条約は障害者の人権や基本的自由を守るための法律です。「私達のことを私達抜きには決めないで」という世界の考え方を大切に、障害者団体が条約の作成に参加するという画期的な取り組みがなされました。

主な内容は、

- ・ 差別をなくし、合理的配慮をすること。
- ・ 合理的配慮とは、障害者が困ることをなくしていく為に周りの人や会社等がすべき無理のない配慮のこと
- ・ 障害者に関わることを決めるときは、障害者が積極的に関わること
- ・ バリヤをなくし施設やサービスを利用しやすくする
- ・ 自立した生活を地域社会でできるようにする
- ・ 障害者の働く権利を守り、職場での差別を禁止し合理的配慮を得られるようにする

平成二十八年四月に施行された「障害者差別解消法」は、「障害者権利条約」の施行を強力に進めるための法律です。対応を求められるのは、国の行政機関や地方公共団体等で、不当な差別的取り扱いが禁止され合理的配慮の提供が法的義務となります。民間事業者等は、差別的取り扱いが禁止され合理的配慮の提供は努力義務に、一般市民はどちらも協力しないといけない事になります。南風荘は、事業者としての対応が求められます。

南風荘には、創立以来、聴覚障害の利用者の為にコミュニケーションの方法として手話ができる職員さんがおります。昨年度は、全国手話検定試験を受験し、多くの有級合格者を出していることは頼もしい限りです。施設のバリアフリー化や車椅子対応の作業台やトイレ、お風呂などにより、利用者も暮らしやすくなったかと思えます。障害特性による対応も考えられていると、感謝しております。しかしまだまだ道半ばだと思いますので、今後とも利用者が、人間として生きていける様、共に理解を深め支え合っていきたいと思えます。

各事業所住所・電話番号

◎セルブ南風

◎ふれあいのお店 南風

住所 宇部市あすとぴあ二丁目一五
TEL 0836-4316211
FAX 0836-4316225
E-mail selb-n@ace.ocn.ne.jp

◎セルブときわ

住所 宇部市西岐波大沢西前
TEL 0836-5410130
FAX 0836-5110335
E-mail selb-ktw@juno.ocn.ne.jp

◎セルブ岡の辻

住所 宇部市大字西岐波字
西迫ノ田二一八九番地六〇
TEL 0836-5412960
FAX 0836-5412961
E-mail selb-o@juno.ocn.ne.jp

◎セルブ藤山

住所 宇部市西平原四丁目三四二
TEL 0836-3816666
FAX 0836-3816667
E-mail selb-f@cosmos.ocn.ne.jp

◎ぴあ南風

住所 宇部市鵜の島町五一
TEL 0836-3115151
FAX 0836-3115160
E-mail pianan1@circus.ocn.ne.jp



セルプ南風

桜まつり

4月3日(日) 今年も恒例のセルプ南風「桜まつり」が開催されました。

今年は、シンガーソングライターの「水本諭さん」のライブステージもあり、童謡選手鞠(よさこいチーム)マハロフラ(フラダンス)・スウィートポップコーン(ダンス)、また、山口県立大手話サークル(手話歌)等盛り沢山のイベントでした。出店されているお店での食べ物、飲み物も充実していて、大変好評でした。

また抽選会においても、豪華景品が用意され、利用者の方々も当たっているのか、ハズしているのか、ドキドキ・わくわくされて多に楽しまれていらっしゃいました。



セルプときわ

宇部ラーメン「一久」セルプときわ店

6月18日(土) セルプときわにて、「一久ラーメンときわ店」を開

店致しました。一久ラーメンさんの全面協力のもと、ご家族の方々にも参加して頂き、盛大に開催する事が出来ました。

利用者様も普段の昼食とは違い、ご家族との昼食をととても嬉しそうに召し上がっておられました。鶏のから揚げ・おにぎり・フルーツヨーグルトなどラーメン以外のメニューも提供され、大満足の内容でした。

「一久ラーメン久しぶりに食べた!」「美味しかった」「ラーメンまた食べたいね」と好評で、次回もまたやって欲しいとの声も多数あり、第1回の「一久ラーメンときわ店」は大盛況のうちに幕を閉じました。



セルプ岡の辻

高工賃を目指して

6月19日(日) セルプ岡の辻

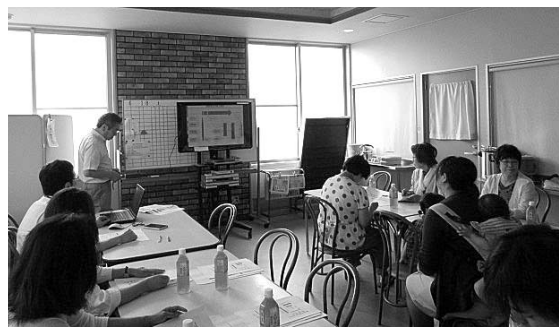
就労継続支援B型では、障害のある方々の特性に合った作業を提供する為、多種多様な事業を展開してきました。そして、地域で自立した生活を営めるよう、高工賃を目指しています。

その一環として、工賃規程について検討を重ね見直しを図り、利用者や家族の皆様説明会を実施いたしました。

説明会では、平成30年に行われる制度の見直し改定される工賃規程について説明を行いました。利用者や家族からも多くの質問が出され、有意義な時間となりました。

特に、現状の事業の経営状況について関心が強く、工賃規程の見直しにより工賃(時給)が上がることや販売会等に参加することで、手当てが支給されること等にご理解いただきました。

休日のお忙しい中、たくさんご利用者や家族の方々にご出席いただきありがとうございます。今後も説明会等を通じて、情報提供の場を設けていきたいと感じました。



セルプ藤山

春の恒例イベントバーベキュー大会

4月16日の土曜日のお昼にセルプ藤山にてバーベキュー大会を実施しました。

前日から熊本地震に伴う余震の影響も懸念されましたが天候にも恵まれ、予定通りに開催することが出来ました。昨年と同様に利用者の御家族をお招きして交流の場を持つ機会となりました。

メニューは、焼き肉のほかにサイドメニューとして焼きそば、飲み物は、ソフトドリンク・ノンアルコール・甘酒・お茶を提供しました。メニューもバラエティに富んでいた事もあり、食も進んでいる様子でした。藤山のバーベキューは年3回で次回は、9月を予定しています。「今度はいつかね?」と早くも待ちわびている利用者も多いです。



ぴあ南風

ピアカウンセラーのご紹介

ぴあ南風は、身体・知的・精神に障害をお持ちの方々の生活・仕事・困りごとの相談をお受けする相談支援事業所です。

また、実際に障害をお持ちの当事者の方が相談をお受けする、ピアカウンセラー事業も行っています。障害のある仲間同士だからこそ話し合えること、相談できることがあると思います。

ピアカウンセラーのメンバーは、知的障害、精神障害、脳血管障害、聴覚障害、視覚障害、身体障害名をお持ちの6名の方で、幅広い相談に応じることができるような仕組みになっています。相談支援専門員とは違う切り口での関わりを持って頂き、ぴあ南風の職員も色々と勉強させて頂いております。それぞれにお仕事を持っておられたり、地域での役割も担われていらっしゃるお忙しい中でも、年2回お集まり頂いて、活動報告や現在の地域での相談の声などをお話し頂いております。



私のモットーは一緒に考え歩くこと。たくさんの方とお会いしたいです♥

栗林百合子
(聴覚障害)



ホームヘルパーの資格を得て今は施設で働いています。とても充実した毎日です。同じ病気の者同士、僕と一緒に悩みましょう!

真鍋幸一
(知的・精神障害)



はり灸・マッサージ師として働いています。好きなことは「今、吾、何をなすべきか」です。みなさんのお役に立てたら幸いです。



飯田晋一
(視覚障害)



流した涙は自分のアスにしよう。ひとりでがんばらなくていいですよ。私達がします。

山田厚子
(脳血管障害)

障害を楽しみましょう。まずはご相談から♡



斎藤健也
(身体障害)



一人ひとり悩みは違いますが「いかに幸せに生きるか」が重要なことだと思います。僕達と一緒に幸せになる方法を考えていきましょう。

佐藤和久
(精神障害)



またその会議とは別に年に1回ぴあ南風職員、ピアカウンセラーの皆様で色々な事業所を見学に行かせて頂いて、それぞれの視野を広げたり交流等も行っています。何か御相談に等あればお気軽にご連絡下さい。

第16回 全国障害者スポーツ大会 「希望郷いわて大会」への出場にあたって

5月15日(日)、維新百年記念公園 陸上競技場で行われた、第16回全国障害者スポーツ大会「希望郷いわて大会」選考会において、山口県代表に選ばれました。

競技種目は、車いす100mと、(投てき)ジャベリックスローです。大会の場所は、岩手県北上市で、競技は、10月22日・23・24ですが、10月20日・10月25日の日程で行ってきます。初めての出場で、少しドキドキしますが、選考会の時よりも、少しでも良い記録が出せるよう、強化練習を、がんばりたいと思います。

(セルプ南風 長谷信二)





新 人 職 員 紹 介



岩田 寛子
(生活支援員)
社会人1年目でまだまだ
至らない点もございます
が、利用者の皆さんと共
に笑顔を少しでも増やせ
るよう、努めていきたい
と思います。よろしくお
願い致します。

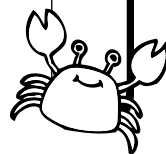


河部 優衣
(生活支援員)
利用者のみなさんが、1
日1日を楽しく過ごせる
よう頑張りたいと思いま
す。よろしく願い致し
ます。



添 健治
(生活支援員兼運転員)
3月15日付で採用され老
いた新人です。利用者様
の力になれる様頑張リま
す。よろしく願い致し
ます。

セルプ南風



吉岡 早苗
(職業指導員)
楽しく長くお仕事してま
いりたいと思います。よ
ろしく願い致します。



溝口 雄一
(職業指導員)
これから色々なことに
チャレンジして、経験を
積んでいきたいです。利
用者の皆様の充実した
日々のため、明るく元気
に頑張ります。



竹重 優子
(職業指導員)
「笑顔」と「感謝」の気持
ちを忘れず、常にメンバ
ーさんの思いに寄り添える
指導員を目指して明るく
頑張ります。宜しくお願
いします。

セルプ岡の辻



人 事 異 動

〔昇 格〕 (4月1日付)

◆セルプ南風

入所支援課兼生活介護課 課長 廣永 貴志
入所支援課兼生活介護課 主任兼サービス管理責任者 佐野 智之

〔異 動〕 (4月1日付)

◆セルプときわ

生活介護支援課主任兼生活支援員 松岡 健児
就労継続支援課目標工賃達成指導員 山本 翔太
就労継続支援課職業指導員 三上 英易

◆セルプ岡の辻

就労継続支援課目標工賃達成指導員 佐伯 謙一
就労継続支援課職業指導員 白石 美里

◆セルプ藤山

就労継続支援課課長 同格兼生活支援員 間地 ゆう子

就労継続支援課職業指導員 平野 佳子
就労継続支援課職業指導員 山本 和磨

〔退職者〕 (3月31日付)

本郷 和子 (セルプ南風就労継続支援課職業指導員)
井上 マスミ (セルプ南風総務課調理員)
中村 壽成 (セルプ藤山就労継続支援課職業指導員)
齋藤 航也 (ひあ南風相談支援課相談支援専門員)

ありがとうございました！ 福祉車両購入助成金



この度セルフ南風では、日本財団様から、平成二十七年度助成金の交付を受け、車いす対応車の整備を行いました。外出行事や緊急時対応、更には利用者様の広域化に対応した送迎体制の充実化を図り、地域に愛着を抱かれる法人として、更なる福祉向上を目指してまいりたいと思います。ここに、

日本財団様をはじめ、ご協力賜りました皆さまに謹んで感謝の意を表します。ありがとうございました！



「平成28年熊本地震」支援活動

セルフ岡の辻 所長 益原 忠郁

4月14日未明に熊本県で大規模な地震が発生したのは記憶に新しいことだと思います。

全国セルフ協と日本セルフセンターでは、4月18日に「全国セルフ災害対策本部」を立上げ、東日本大震災の教訓を踏まえた支援体制の基本的な考え方として「全国セルフ災害時対応マニュアル」から、「①情報収集および提供」「②物資の提供」「③義援金支給」の支援の柱が決定されました。

物資の供給は、全国セルフ協事務局が中心となって収集・整理することとし、支援物資の調達・運搬は九州ブロックセルフ協が実施すると共に物資の集積拠点は、大牟田敬愛園に置くこととなりました。

4月20日に九州ブロックセルフ協 叶会長から物資運搬のために、当法人の4tトラックの現地派遣要請が入り急遽被災地に入ることとなりました。

支援物資は、被害の少なかった熊本県内の施設・事業所まで運搬し、その後はそれぞれの施設・事業所が受取に行くこととなっていました。

支援物資運搬の道中の光景は、この地震は断層の変動によるものであったため、ブルーシートで覆われている屋根が大河のように連なり、交通状況は全国各地からの支援の車と変り果てた道路状態のためあちらこちらで渋滞を起こし予定時間よりも遅れながらの運搬となりました。

あれから2か月が過ぎ、緊急支援は一段落をしましたが復興に向けての支援はまだまだ必要であり、被災地の皆さんの生活が一日も早く元に戻るよう今後も被災地へ目を向けて協力を続けていきたいと考えています。

善意のご紹介

- ◆ 宇部緑橋協会様
- ◆ 大田和弘様
- ◆ うへ福祉祭大会委員長

平岡弘子様

順不同

心温まる善意を頂き、
誠にありがとうございました。



編集後記

今年はメタボ脱出!!



今年1年楽しく過ごせるよう頑張ります。 岡田

今年の夏も、暑さに負けずに頑張ります。 白石

残暑厳しい夏を乗り越えたいです。 三好

暑さに負けず頑張ります。

吉川

心頭滅却すれば火もまた涼し

山田